

戻る

自由記述について

【1】

Q7.第三者の精子を用いた体外受精を社会的に認められない、とする理由

- 1.選択肢にあてはまるあるいはそれにかなり近いもの:32人
- 2.選択肢にはあてはまらない・まったく異なる意見:24人

生まれた子供の気持ちを考え。
大人のエゴが強過ぎて、バカげている。
子供や親に問題が生じた場合、対処するシステムができていない。
障害児が生まれた場合、虐待、離婚の原因につながる。
技術によって出産の可能性が広がると「子供がいて当然」という意識が社会的に高まり、子供のいない夫婦へのプレッシャーになる。
親の欲だけで子供を生んではいけない。
子供が本当のことを知ったらかわいそう。
与えられたことを受け入れることが大切。
人として諦めることも大事。
第三者の精子を用いたことが、頭から離れないような気がする。
歯止めが利かなくなるのが怖い。
お金のある人しか治療できないのは不平等。
子供を持つことは、結果であって目的ではない。
子供だけが家庭生活ではない。
子供のいる人生、いない人生両方を認めるべき。
人間的に行ってはいけない。
人としての領域を越えてしまうから。
倫理観。
心身面に障害があった場合、すべての人が育てていけるとは思えない。倫理的にも良くない。
子供が知った時、納得できないかもしれない。
母体の健康に害になる可能性がある。
自分の体力に自信がないから。
障害者が生まれた時、責任がとれるか。
培養液に問題がないと言い切れない。

行った場合に生まれた子供の心情、子供のいない人生を受け入れるべき、あるいは倫理的・思想的に受け付けられないといった意見が目立った。

Q10.第三者の卵子を用いた体外受精を社会的に認められない、とする理由

- 1.選択肢にあてはまるあるいはそれにかなり近いもの:22人
- 2.選択肢にはあてはまらない・まったく異なる意見:22人

障害が生じた時、後悔する可能性がある。
年をとって卵子提供者がどう思うか。
生まれた子供の気持ちを考え。
大人のエゴが強過ぎて、バカげている。
子供や親に問題が生じた場合、対処するシステムができていない。
障害児が生まれた場合、虐待、離婚の原因につながる。

技術によって出産の可能性が広がると「子供がいて当然」という意識が社会的に高まり、子供のいない夫婦へのプレッシャーになる。
本当のことを知ったら子供がショックを受けるから。
人生観、信念を大切にする。
氏より育ち。
第三者の卵子を用いたことが、頭から離れないような気がする。
歯止めが利かなくなるのが怖い。
お金のある人しか治療できないのは不平等。
子供のいる人生、いない人生両方を認めるべき。
考えられない。
人としての領域を越えてしまうから。
倫理観。
倫理的に良くない。
母体及び提供者の健康に害になる可能性がある。
女性として納得できない。
何かと問題になりそう。
排卵誘発剤の使用等で提供者の体に負担がかかる。

Q7.と同様の傾向が認められるが、第三者である提供者の健康等に対する意見が認められた。

Q14. 第三者の受精卵を用いた体外受精を社会的に認められない、とする理由

1. 選択肢にあてはまるあるいはそれにかなり近いもの: 32人
2. 選択肢にはあてはまらない・まったく異なる意見: 33人

出産経験することだけで、親の気分になるのは不自然。
常識的に考えられない。
そこまでして産む必要があるのか。
生まれた子供の気持ちを考え。
大人のエゴが強過ぎて、バカげている。
子供や親に問題が生じた場合、対処するシステムができていない。
障害児が生まれた場合、虐待、離婚の原因につながる。
技術によって出産の可能性が広がると「子供がいて当然」という意識が社会的に高まり、子供のいない夫婦へのプレッシャーになる。
与えられたことを受け入れることが大切。
子供を望む自分の考えを自身に問いかける。
第三者の精子、卵子を用いたことが、頭から離れないような気がする。
歯止めが利かなくなるのが怖い。
子供のいる人生、いない人生両方を認めるべき。
どんなことがあっても、行ってはいけない。
人としての領域を越えている。
倫理観。
倫理的に良くない。
そこまでして幸せか。
母親の体は大丈夫なのか。
そこまでなくても、良いのではないか。
これは医療ではない。
そうまでしてと思う。

医学の進歩には一定の線引きが必要。
考えた事がない。
自分が代理母のように思える。
社会秩序を乱すので、一線が必要。
そこまでして子供を持つ必要があるのか、理解できない。
そこまでする必要はない。
何となくひっかかる。
本当にやりたい人は認められなくてもやる。
本当の両親に会いたいと言われたら悲しくなる。
予想もしないトラブルが発生しそうだから。
倫理的に良くない。

倫理的・思想的に認められないとする意見が多かった。

Q19.「代理母」を社会的に認められない、とする理由

1. 選択肢にあてはまるあるいはそれにかなり近いもの: 34人
2. 選択肢にはあてはまらない・まったく異なる意見: 20人

親戚にいるからイヤ。
知る権利を確定させてからでないと、不安で絶対に認めることはできない。
代理母の夫の事を考えると許されない。
子供の気持ちを考えると辛い。
生まれた子供の気持ちを考え。
大人のエゴが強過ぎて、バカげている。
子供や親に問題が生じた場合、対処するシステムができていない。
障害児が生まれた場合、虐待、離婚の原因につながる。
与えられたことを受け入れることが大切。
親の身勝手。
どうしても納得いかない。
歯止めが利かなくなるのが怖い。
一般論として無理がある。
責任は誰が負うのか。
生殖的に同じ規格をもっていないと、人間として魅力がないという風潮ができる。
承諾した上でも、実際お腹を痛めた代理母の心情は複雑。
感情は理論通りいかない。
ここまでして子供はいらない。
生まれてくる子供がこの手段を望まないと思う。
子供を持つことだけが夫婦の人生ではないと思う。社会全体のことを考えて欲しい。

感情的に受け付けられないという感じの意見が目立った。

Q23.「借り腹」を社会的に認められない、とする理由について。

1. 選択肢にあてはまるあるいはそれにかなり近いもの: 22人
2. 選択肢にはあてはまらない・まったく異なる意見: 11人

子供だけが愛情の証しではない。夫婦だけでも安心して暮らしていけるのではないか。
夫婦なのに他人の精子をもらうのはおかしい。
出産が嫌な女性が、安易に利用するのでは。
親戚にいるからイヤ。

自分が痛みを味わえなかったことへの悔しさが大きい。
生まれた子供の気持ちを考え。
大人のエゴが強過ぎて、バカげている。
子供や親に問題が生じた場合、対処するシステムができていない。
障害児が生まれた場合、虐待、離婚の原因につながる。
生殖医療とは言えない。
技術によって出産の可能性が広がると「子供がいて当然」という意識が社会的に高まり、子供のいない夫婦へのプレッシャーになる。

他に比べ、意見も少なかった。傾向としては他の問いとほぼ同様。第三者に対する記述は少ない。

【2】

Q18.「代理母」を社会的に認めてよい、とする理由

1. 選択肢にあてはまるあるいはそれにかなり近いもの: 7人
2. 選択肢にはあてはまらない・まったく異なる意見: 16人

愛人に子供を生ませることがあるから。
子供は子供。
子供は世界の宝。
少子化対策。
好きな人の子供だから。
すべて望んでいれば。
精子だけでも夫のものならいいのではないかと思う。
精神的苦痛を感じているなら。
切実に希望する人のみ認めても良いと思う。お金がないから私はしない。
それほどまで欲しいと思っているのだから、大切に育てると思う。
どうしても主人の子供を産みたいと思ったら、救いになると思った。でも、100%賛成とは言えない。
人それぞれの考えがある。
夫婦がどんな形でも望むならいいと思う。
夫婦共に望んでいるから。
欲しいと願っているのだから、理由は必要ない。
卵子が母体のものであれば子供の健康に害がないような気がする。

夫婦の希望があればいいのではないか、という意見が目立った。

Q22.「借り腹」を社会的に認めてよい、とする理由

1. 選択肢にあてはまるあるいはそれにかなり近いもの: 5人
2. 選択肢にはあてはまらない・まったく異なる意見: 23人

遺伝子は夫婦のものだから。
生まれた子供を大切に育てると思う。
子供は子供。
自分達の子供だと思い、愛情を持って育てる事ができると思う。
少子化対策。
人類みな兄弟。
精子、卵子が自分達のものだから。
切実に希望する人のみ認めても良いと思う。お金がないから私はしない。
代理懐胎のトラブルが起きないことを原則として。

血がつながっている。
血がつながっているから。
望んでいる人が、本気であれば。
夫婦間の子供だから。
夫婦間の子供だから。
夫婦との血のつながりがあるから。
夫婦の遺伝子だから。
夫婦の遺伝子を持っている。
夫婦の子なら良いと思う。
夫婦の精子、卵子だから。
夫婦の精子、卵子だから。
夫婦の精子、卵子だから。
夫婦の精子、卵子だから容姿が似ている。
欲しいと願っているのだから、理由は必要ない。

遺伝的に、夫婦間の子供であるので認めてよい、とする意見がほとんどであった。

【3】

Q51.自由記述欄の集計

- (1) 生殖補助医療技術に対して賛成か反対か
 1. 賛成意見(条件つきも含む) 477人
 2. 反対意見 216人
 3. わからない 112人
 4. その他(記述なし) 421人
- (2) 第三者が関与する生殖補助医療技術に対して賛成か反対か
 1. 賛成意見(条件つきも含む) 402人
 2. 反対意見 327人
 3. わからない 110人
 4. その他(記述なし) 388人
- (3) 不妊について
 1. 悩んだことがある、悩んでいる 64人
 2. 周囲に悩んでいた人、いる人がいる 76人
 3. 悩んでいない、わからない 1087人
- (4) 不妊について
 1. 治療を受けたことがある 37人
 2. 過去に治療を考えたことがある、現在考えている 10人
 3. 周囲に受けたことのある人がいる、そういう話を聞いたことがある 67人
 4. 興味がある、興味を持った 102人
 5. 興味なし、その他 1011人
- (5) 子供の出自等の子供の権利、子供に対する感情の記載の有無
 1. あり 145人
 2. なし 1082人
- (6) 保険適用など、経済的な問題についての意見無
 1. あり 89人
 2. なし 1138人
- (7) アンケートそのものに対する意見
 1. あり 109人
 2. なし 1118人

Q51 自由記載

[トップへ](#)

[戻る](#)